

広大科研  
19  
15520429  
0100453536

---

# 近代中国における都市と権力

— マス・メディアの形成との関連から

---

(課題番号 15520429)

平成15年度～平成18年度科学研究費補助金 (基盤研究(C))

## 研究成果報告書

平成19年3月

研究代表者 **水羽信男**

(広島大学大学院総合科学研究科 助教授)

広島大学図書

0100453536



はしがき

清末から 1949 年革命に至る過程は、世界史の文脈のなかで位置づければ、「国民国家」(Nation State) の形成過程であったと言える。だが毛沢東の「農村が都市を包囲する」という革命テーゼに基づき、1949 年の中華人民共和国成立に至る政治過程は、中国共産党(中共)が指導する農民を主体とする軍隊が、都市を拠点とする中国国民党(国民党)を軍事的に敗北させる過程として一面的に理解されることも、かつての研究では少なくなかった。

たしかに、かかる研究状況に対する批判が現われてからすでに数十年が経ち、多くの貴重な成果が生み出されてきた。しかし、いまだに中国の政治権力の特質が都市史との関連から十分に解明されたとはいえない。そこで本研究では、中国民主化の内在的な契機を都市に求め、同時にまた、それを抑圧しかねない大衆文化状況も都市において形成されつつあったとの作業仮説を立て、「都市と権力」の問題を論じようとした。そのために本研究が具体的に着目したのが、次の六都市であった。

【平津地区／昆明】 中華民国期前半の首都・北京(国民政府時期には北平と改名)とその外港・天津を含む地域は、国民革命(1924-28)の後は欧米への留学を経験したりベラリストの拠点と目されてきた。北京大学、清華大学、南開大学などで活動した知識人は、1937 年の日中全面戦争の開始にともない昆明へと疎開し、西南聯合大学などの教育機関によりながら、特徴ある雑誌を刊行し活発な情報発信を行なった。

【上海／重慶】 中国最大の経済基地となった上海は、中国で最も早く大衆文化状況が生れた都市であったが、1937 年の全面戦争で多くの知識人が上海を離れることになった。彼・彼女らの多くは、臨時首都・重慶へと集まり、この都市はそれ以前に比較して飛躍的にメディア状況も改善された。上海から疎開した知識人は新たに創刊された新聞・雑誌を含む重慶のメディアを活用して、全国の世論形成において重要な役割を果たした。

【香港】 英国の植民地として中国政府の統制に服さなかった香港は、日本の占領下におかれた時期(1941~45 年)を除いて、相対的な意味で言論の自由が保障されていた。国民党の弾圧を避けた左派系の人びとをも含み、香港では活発な言論活動が展開された。

この六都市を主要な舞台とした都市と権力との相関関係は大略、次のようにまとめられる。清末から中華民国期において、雑誌・新聞を中心とするメディア空間で示された議論は、都市において初歩的な「公共的な政治空間」を形成することに成功した。それは上海や平津地区などごく一部の先進的な都市に限定されてはいたが、国民党からも中共からも相対的に自律した立場に立った知識人は、世論を呼び起し、また世論に支持されながら、国共両党がそれぞれ示した「党国家」体制を原理的に批判し、1949 年革命に対するオルタナティブを提示するに至った。その思想的な背景となったのが、英国労働党左派の理論的な指導者であったロンドン大学教授・ハロルド＝ラスキであった。

本研究では上記のような議論を展開した人びとを中国のリベラリストと位置づけたが、それは彼・彼女らが高揚するナショナリズムに対して、極めて冷静な対応をとり、“個の尊厳”

広島大学図書

0100453536



を基礎とするリベラルな諸価値を中国に定着させるための政治制度・政治文化の形成・定着を、メディア空間を通じて実現しようとしたことに起因している。

だが、こうしたリベラルな議論は当然のごとく国民党および中共といった政治権力から批判されることになった。また彼・彼女らを批判したのは、国共両党だけではなかった。当時、英国の植民地として、国民党の統制が比較的にいえば及ばなかった香港からは、強烈なリベラリスト批判が展開された。香港における相対的に自由な言論空間は、リベラルな議論を批判する役割も果たしたのである。

なお本研究では言説分析と同時に、中国政治史のダイナミズムを地域的な差異・相互関連において理解するために、基本的な事実の調査・発掘の一環として、個々の知識人の経歴などに関する詳細なデータ収集も行なった。

## 研究組織

研究代表者：水羽信男（広島大学大学院総合科学研究科助教授）

研究分担者：曾田三郎（広島大学大学院文学研究科教授）

研究分担者：楠瀬正明（広島大学大学院総合科学研究科教授）

研究分担者：金子 肇（下関市立大学経済学部教授）平成 16 年度から参加。

## 交付決定額（配分額）

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合計
平成 15 年度	1,500	0	1,500
平成 16 年度	1,000	0	1,000
平成 17 年度	700	0	700
平成 18 年度	500	0	500
総計	3,700	0	3,700

## 研究発表

### (1) 学会誌等

#### 平成 15 年度

水羽信男「1940 年代中国の都市と知識人——『観察』に関する研究をめぐって」『アジア社会文化研究』5号、2004年2月27日

曾田三郎「海外政治視察団の派遣決定過程と日露講和問題」『広島東洋史学報』8号、2003年11月28日

曾田三郎「清末の憲政準備と日本での官制改革論」孫文研究会編『辛亥革命の多元構造』汲古書院、2003年12月25日

#### 平成 16 年度

水羽信男「中国知識人の問いかけ」布川弘ほか編『制度と生活世界』培風館、2004 年 4 月 22 日

水羽信男「2003 年の歴史学界 回顧と展望 東アジア（中国－現代）」『史学雑誌』第 113 編第 5 号、2004 年 5 月 20 日

水羽信男「日本の中国近代城市史研究」『歴史研究』第 292 期、2004 年 12 月 15 日

水羽信男「昆明における抗戦とリベラリズム」石島紀之・久保亨編『重慶国民政府史の研究』東京大学出版会、2004 年 12 月 20 日

水羽信男「中華民国後半期(1928-1949)政治史研究綜述」『地域文化研究』第 30 巻、2004 年 12 月 31 日

楠瀬正明「20 世紀初期における中国の国会速開請願運動」『地域文化研究』第 30 巻、2004 年 12 月 31 日

金子 肇「善後会議における中央と地方－臨時執政政府の改組をめぐって」『近代中国研究彙報』第 27 号、2005 年 3 月 28 日

#### 平成 17 年度

水羽信男「《新青年》雑誌上の“辛亥革命”」『地域文化研究』31 巻、2005 年 12 月 31 日

曾田三郎「山東鉄道をめぐる日中交渉と日本人主任雇用問題」『日本の青島占領と山東の社会経済』東洋文庫、2006 年 3 月 23 日

楠瀬正明「直隸省的国会速開請願運動」林啓彦等主篇『有志竟成一孫中山、辛亥革命與近代中国』（香港浸会大学人文中国学報編輯委員会、香港中国近代史学会）、上冊、2005 年 12 月

楠瀬正明「二十世紀初期における中国の国会速開請願運動（二）」『地域文化研究』31 号、2005 年 12 月 31 日

金子 肇「袁世凱政権与民初的中央地方關係」林啓彦等主篇『有志竟成一孫中山、辛亥革命與近代中国』（香港浸会大学人文中国学報編輯委員会、香港中国近代史学会）、上冊、2005 年 12 月

#### 平成 18 年度

水羽信男「1940 年代における中国の自由への道」、『近きに在りて』49 号、2006 年 5 月 30 日

水羽信男「20 世紀 30 年代的中国政治和自由主義知識分子」中国社会科学院近代史研究所民国史研究室・四川師範大学歴史文化学院編『1930 年代的中国』（下）、社会科学文献出版社、2006 年 9 月

水羽信男「共和国成立前後の民主建国会、1945-53 年」久保亨編『1949 年前後の中国』汲古書院、2006 年 12 月 25 日

曾田三郎「清末民初的政治改革和日本早稲田大学」『蘇州科技学院学報』第 23 巻第 1 期、2006

年2月

曾田三郎「中華民国憲法の起草と外国人顧問－有賀長雄を中心に－」『近きに在りて』第49号、2006年5月30日

曾田三郎「清末の立憲改革と大隈重信の『封建』論－他国の政治改革をめぐる自国史認識－」張翔・園田英弘編『「封建」・「郡県」再考－東アジア社会体制論の深層』思文閣、2006年7月10日

金子肇「1920年代の江蘇省『軍閥』統治の変容と地方行財政」『近きに在りて』49号、2006年5月30日

金子肇「第一次大戦期、北京政府の産業行政と調査審議機関－経済調査会と戦後経済調査会の設立－」『東洋学報』88-1、2006年6月19日

金子肇「国民党による憲法施行体制の統治形態－孫文の統治構想、人民共和国の統治形態との対比から－」、久保亨編『1949年前後の中国』汲古書院、2006年12月25日

## (2) 口頭発表

### 平成15年度

水羽信男「抗日戦争と昆明の自由主義者」＜二十世紀中国的戦争与社会＞学術座談会（台湾・中央研究院近代史研究所）2003年9月24日

水羽信男「日本中国近代史研究現状」中国社会科学院近代史研究所革命史研究室主催学術討論会、2003年12月23日

### 平成16年度

曾田三郎「清末・民初の立憲改革と日本の早稲田大学」蘇州大学歴史文化学院講演会、2004年11月22日

金子肇「孫文の統治構想と行憲体制、人民共和国の統治形態」＜1949年前後の中国：その政治・経済・社会構造の断絶と連続＞国際シンポジウム、2004年12月11日

### 平成17年度

水羽信男「1930年代的中國政治和自由主義知識分子」1930年代的中國國際學術檢討会（中国・成都市）、2005年8月5日

水羽信男「中国知識分子和西方自由主義」中国社会科学院近代史研究所革命史研究室主催学術討論会、2005年10月25日

金子肇「論孫文的統治構想、行憲体制及人民共和国的統治形態」中国社会科学院近代史研究所革命史研究室主催学術討論会、2005年10月25日

### 平成18年度

水羽信男「近年来有関日本对中国現代史的研究動向」 韓日兩地域中国近現代史研究者交流会 第二屆國際學術會議，青山大学，2006年1月7日

水羽信男「王贛愚的民主主義思想：以「自由」論為中心」 近現代中国与東亜的公共性：以「自由与統合的問題」為中心（東大シンポジウム），東京大学，2006年10月14日

水羽信男「王贛愚的“地方自治論”」 日本広島中国近代史学会南開會議，南開大学（中華人民共和国天津市），2006年10月24日

水羽信男「アジアにおける自由の行方」 國際學術シンポジウム孫文生誕140周年記念「孫文と南方熊楠－越境する知の対話－」（財団法人・孫中山記念会主催／兵庫県國際交流協會・日本孫文研究会共催），舞子ビラ神戸，2006年12月9日

曾田三郎「袁世凱大總統聘任有賀長雄為法制局顧問的経緯」 日本広島中国近代史学会南開會議，南開大学（中華人民共和国天津市），2006年10月24日

金子肇「強化立法權還是強化行政權？：民国時期的憲法抗争与統治形態」 日本広島中国近代史学会南開會議，南開大学（中華人民共和国天津市），2006年10月24日

(3) 出版物 無

## 「近代中国における都市と権力」にかかわる基礎資料

水羽信男

都市を拠点とした知識人の活動については、少なからぬ成果があがっている。そのなかで、たとえば「中間派」などといったグループ分けもそれなりに行なわれている。だがそれぞれの研究者が自己の関心にそって、便宜的に区分しているのが実情であった。それは基礎的なデータが不足した研究状況のなかではやむを得ないことでもあったが、さまざまな資料的な条件がそろいつつある現在では、着実な情報の収集と整理が求められていることもまた否定できない。

そこで本研究では、「都市と権力」の問題を考えるうえで必要な個々の知識人のプロフィールについて、いくつかの視点から再構成するを行なった。以下はその成果の一端であるが、まずデータ収集・調査における基本的な方針を最初に示しておく。

従来、研究が最も進んでいたのは、中国民主同盟（民盟）に結集した知識人の活動であった。しかし周知のように民盟は、1939年の建国同志会をその組織的前身としており、この政治党派を構成したのは、青年党をはじめとする三党三派であり（表1参照）、その内部構成は複雑であった。それゆえ民盟を研究する上で三党三派に関心が寄せられたのは当然であったが、今後は次の三点についても十分に注意を払う必要がある。

1) 重慶で、国民参政員によって組織された建国同志会から、民盟として個人会員の参加を認めるようになる組織原則の変更以後、民盟の内部ではそれまで大きな力を持っていた青年党に替わって共産党と密接な関係を持つ救国会派など左派的な勢力が台頭してゆく（図1・表2参照）。こうした時系列を意識したデータ収集が必要であること。

2) 図2が示すように、「民主諸党派」と呼ばれることになる各小党派は、三党三派以外の知識人も含んでいること。とくに中国民主建国会や民主促進会の指導的幹部は、民盟の指導部と重ならない人びとが多い。また自由主義者が結集したと評価される雑誌『観察』の主要な執筆者には、政治党派の指導部に属さない人物も多い。

3) さらにいわゆる無党派の知識人のなかには香港のメディアを利用した郭沫若や、民建の馬叙倫のように、「民主諸党派」が展開した国共両党から相対的に自律的な言論活動に対して、批判をおこなった人びとも少なくない。この左派グループの個々の知識人についてのデータ収集も不十分であること。

そこで本報告書では『観察』の主要執筆者のプロフィールを、その著述活動に着目してまとめるとともに（表3）、民主建国会の指導的幹部のリストを抽出した（表4）。表5は香港における左派グループの拠点となった『光明報』の主要執筆者を廖彦博「戦後『民主人士』政論分析——以香港《光明日報》為中心的研究（1946-1949）」（2002年度・国立政治大学〔台湾〕修士論文）から抜き出したものである。なお表6は、以上の表のもとになったデータを集積したものである。

### 凡例

- 1) 十分な精査を経ておらず、いずれの表も初稿の段階である。ただし、大勢を理解することは可能だと思われる。大方の批判を期待する。
- 2) 表を作成するに際して、利用した史料は以下の通り（各表の典拠は省略）。  
週末報社編輯『新中國人物誌』（週末報叢書、1950年）\*以下、志と略称、王覚源『中国党派史』（正

中書局、1983年)、孟広涵主編『国民参政会紀実』(重慶出版社、1985年)、于剛主編『中国各民主党派』(中国文史出版社、1987年)、邱錢牧『中国民主党派史』(浙江教育出版社、1987年)\*以下、邱と略称、田子渝・劉徳軍主編『中国近代軍閥史詞典』(档案出版社、1989年)、秦国生ほか主編『中国民主党派歴史政綱人物』(山東人民出版社、1990年)\*以下、秦と略称、任一民主編『四川近現代人物伝』卷六(四川大学出版社、1990年)\*以下、任一と略称、徐友春『民国人物大辞典』(河北人民出版社、1991年)\*以下、徐と略称、蒋景源主編『中国民主党派人物録』(華東師範大学出版社、1991年)\*以下、蒋と略称、張曉芳「中国民主同盟之研究(民国28年～民国38年)」(国立台湾師範大学歴史学研究所修士論文、1991年)\*以下、張と略称、同辞典編委会『中華留學名人辞典』(東北師範大学出版社、1992年)\*以下、留学と略称、陳玉堂『中国近現代人物名号大辞典』(浙江古籍出版社、1993年)\*以下、陳と略称、楊親華ほか主編『中国民主党派詞典』(中国法政大学出版社、1989年)\*以下、楊と略称、水羽信男「1940年代中国の都市と知識人——『觀察』に関する研究をめぐって」(『アジア社会文化研究』5号、2004年)\*以下、水羽と略称など。

表1 中国「民主諸党派」一覧

団体名	成立年	備考(括弧内の人名は指導者)
中国民主同盟 (略称:民盟)	1944	建国同志会(1939)、中国民主政団同盟(1941)が発展。政団同盟に参加したのが次の三党三派(張瀾)。
中国青年党	1923	国家主義政党、1945年に民盟から離脱。1949年革命に際して台湾へ移る(曾琦・李璜)。
第三党	1930	中国国民党臨時行動委員会(1927)・中華革命党(1928)を起源とする。その後、中華民族解放行動委員会(1935)・中国農工民主党(1947)へ改組(鄧演達・章伯鈞)。
中国国家社会党	1934	民盟を離脱、民主憲政党と合併して、中国民主社会党へ(1946)、1949年革命で主流派は台湾へ(張君勱・張東蓀・羅隆基)後二者は国家社会党からはのちに離脱)。
職業教育派	1917	中華職業教育社を拠点として活動(黄炎培)。
鄉村建設派	1933	鄉村工作検討会を拠点として活動(梁漱溟)。
救国会派	1936	「12・9」運動を契機に活動を活性化した知識人が全国各界救国聯合会(1936年)を組織した。1945年冬、人民救国会へ改組された(沈鈞儒・鄒韜奮)。
民主建国会	1945	職教派と遷川工廠聯合会などで構成された(黄炎培・胡厥文・施復亮)。
中国民主促進会 (略称:民進)	1945	抗戦中、上海に留まった知識人・商工業者らによって組織された(馬叙倫・周建人)。
九三学社	1946	1944年成立の民主科学座談会を母体として組織された(許德珩・侯外廬)。
台湾民主自治同盟	1947	台湾で1947年に起こった「2・28」運動参加者が組織した(謝雪紅・楊克煌)。
中国国民党革命委 員会	1948	以下の系譜を含む国民党内左派グループの結集体、1947年11月の国民党民主派第一次代表大会を経て組織(宋慶齡・何香凝)。
中国民権保障同盟	1932	国民党左派以外の広範な民主勢力も結集(宋慶齡・蔡元培)。
中華民族革命同盟	1935	福建事変の参加者が組織、両広事変に関与(李濟深・陳銘枢)。

図1 中国民主同盟（民盟）の組織的発展と構成上の特質

1941.01 皖南事変 →41.03                      1944. 憲政運動 →44.09; 全国代表者会議                      1945.10 国共交渉 →45.10; 臨時全国代表大会

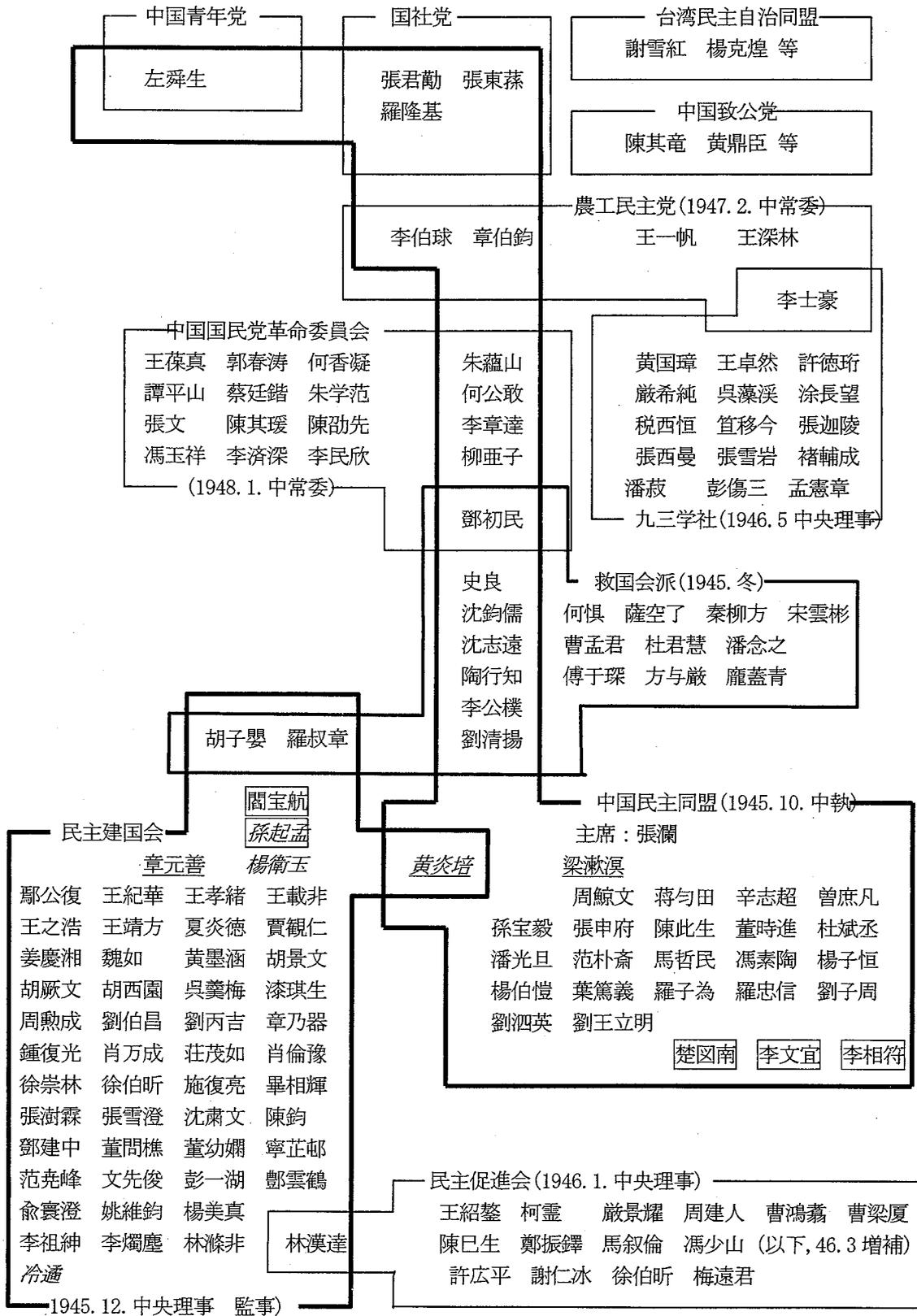
中国民主政団同盟	中国民主同盟	
中執委員：13名	2名退任→11名	前期継続：33名
	22名増員→合計：33名	
	個人会員を認める	増員：33名→66名
		急進派の台頭→青年党離脱

表2 民盟の党派構成の変遷

党派	政団同盟	全代増員／全代全員	臨全増員／臨全全体
	13人	22人／33人	33人／66人
青年党	3	6／9	2／11
第三党	2	1／3	2／5
国社党	2	2／4	3／7
職教派	3(-1)	0／2	0／2
郷村派	1	1／2	1／3
救国会派	0	3／3	9／12
中共	0	2／2	3／5
国民党	0	1／1	2／3
軍閥系	1	4／5	5／10
無党派	0	1／1	4／5
不明	1(-1)	1／1	2／3

注：民盟改組の際に退任した江問漁は職教派、楊廣陶の所属は不明である。臨全で増員された中共黨員には、1946年に復党する李文宜も含んでいる。軍閥系とは、王覚源[1983]・張曉芳[1991]など台湾の研究を援用して確定した。各時期の人名と派系を、列記すれば以下の通り。政団同盟；張瀾[川康系]、全代増員；郭則沅[西北系]、韓兆鵬[西北系]（彼らは農工党の幹部となる）、周鯨文[東北系]、鮮英[川康系]。臨全増員；杜斌丞[西北系]、楊子恒[西北系]、曾庶凡[川康系]、馬哲民[川康系]、羅忠信[川康系]。

图2 中国「民主党派」関連図 ※職業教育派：人名、郷村建設派：人名、中共黨員：人名



注：人名は( )内の段階での各組織の中央委員レベルの幹部。但し、青年党と国社党の幹部については民盟と関連する人物だけに限定した。台湾民主自治同盟と致公党も代表的な人物だけ記載している。

表3 『観察』 「撰稿人」 一覧（初稿）

※人名の配列は『観察』の表紙における記載順に従った。

名前	生年	没年	修学/卒業学校	留学先	抗戦中の言論活動	革命への態度
卞之琳	1910	-	北京大学	英国	- - - - -	大陸
王芸生	1901	1980	(学徒出身)	-	- - - ④ -	大陸
王迅中*1			清華大学	日本	① ② ③ - -	
王贛愚	1906	-	清華大学	米国	① ② ③ ④ ⑤	大陸
伍啓元	1912	-	滬江大学	英国	① - ③ ④ -	台湾
任鴻雋*2	1886	1961	清華大学	日本、米国	- - - - -	大陸
呂復	1887	1951		日本	- - - - -	大陸
何永佶					① ② - - -	
沈有乾	1900	-	清華大学	米国	- - - - -	
吳世昌*3	1908	1986	燕京大学	英国	- - - - -	米国→大陸
吳恩裕	1909	1979	清華大学	英国	- - - - -	大陸
吳沢霖	1898	1990	清華大学	米国	- - - - -	大陸
李純青	1908	1990	中央政治学校	日本	- - - - -	大陸
李浩培	1906	-	東吳大学	英国	- - - - -	大陸
李広田	1906	1968	北京大学	-	- - - - -	大陸
沙学浚					- ② - - -	
周子亟	1911	-	政治大学	ドイツ	- - - - -	大陸
周東郊					- - - - -	
宗白華	1897	1986	同濟大学	ドイツ	- - - - -	大陸
季羨林	1911	-	清華大学	ドイツ	- - - - -	大陸
胡適	1891	1962	中国公学	米国	- - - - -	台湾
胡先驕	1894	1968	清華大学	米国	- - - - -	大陸
柳無忌	1907	-	清華大学	米国	① - - - -	米国
徐盈	1912	-	金陵大学	-	- - - - -	大陸
孫克寬					- - - - -	
馬寅初	1882	1981	北洋大学	米国	- - - - -	大陸
高覺敷	1896	-	香港大学	-	- - - - -	大陸
許君遠	1905	-	北京大学	-	- - - - -	大陸
許德珩	1890	1990	北京大学	フランス	- - - - -	大陸
陳之邁	1908	1978	清華大学	フランス	① - - - -	台湾
陳友松	1899	-		米国	① - ③ ④ -	大陸
陳衡哲	1893	1976	清華大学	米国	- - - - -	大陸
陳瘦竹	1909	1991	武漢大学	-	- - - - -	大陸
陳維稷	1902	1984		英国	- - - - -	大陸
夏炎德	1911	-	暨南大学	英国	- - - - -	大陸
曹禺	1910	-	清華大学	-	- - - - -	大陸
梁実秋	1902	1991	清華大学	米国	- - - - -	台湾
張印堂	1902	-	燕京大学	英国	- - ③ ④ -	大陸
張沅長	1905	-	復旦大学	米国	- - - - -	
張忠絃	1901	1977	清華大学	米国	① - - - -	米国
張東蓀	1886	1973		日本	- - - - ⑤	大陸
張徳昌			清華大学	-	① - ③ - -	香港
笄移今	1909	-			- - - - -	大陸
黄正銘	1903	1973	中央大学	英国	① - - - -	台湾
郭有守*4	1900	-		フランス	- - - - -	台湾→大陸
章靳以	1909	1959	復旦大学	-	- - - - -	大陸
馮至	1905	1993	北京大学	ドイツ	① - ③ ④ -	大陸
馮友蘭	1895	1990	北京大学	米国	① ② ③ ④ -	大陸
程希孟	1900	-		米国	- - - - -	大陸
曾昭掄	1899	1967	清華大学	米国	- - ③ ④ ⑤	大陸

傅雷	1908	1966	持公大学	フランス	— — — — —	大陸
傅斯年	1896	1950	北京大学	米国・ドイツ	① — — — —	台湾
費孝通	1910	—	清華大学	英国	① ② ③ ④ ⑤	大陸
楊剛	1905	1957	燕京大学	米国	— — — — —	大陸
楊絳	1911	—	清華大学	英国	— — — — —	大陸
楊人楩	1903	1973	北京師範	英国	— — — ④ —	大陸
楊西孟	1900	—	北京大学	米国	— — ③ ④ —	大陸
葉公超	1904	1981	清華大学	英国・米国	① — — — —	台湾
雷海宗	1902	1962	清華大学	米国	① ② ③ — —	大陸
趙家璧	1908	—	光華大学	—	— — — — —	大陸
趙超構	1910	1991	中国公学	—	— — — — —	大陸
潘光旦	1899	1967	清華大学	米国	① — — ④ ⑤	大陸
蔡維藩	1898	1971	金陵大学	米国	— — ③ — —	大陸
劉大杰	1904	1971	中華大学	日本	— — — — —	大陸
樓邦彦	1912	1979	清華大学	英国	① — ③ — —	大陸
錢能欣	1917	—	北京大学	フランス	— — — — —	大陸
錢清廉					① — — — —	
錢歌川	1903	—		日本・英国	— — — — —	台湾
錢端升	1900	1990	清華大学	米国	① — — — ⑤	大陸
錢鐘書	1910	—	清華大学	英国	① — — — —	大陸
鮑覺民	1909	—	中央大学	英国	— — ③ — —	大陸
戴文賽	1911	1979	燕京大学	英国	① — ③ — —	大陸
戴世光	1908	—	清華大学	米国	① — ③ — —	大陸
戴鏞齡	1913	—		英国	— — — — —	大陸
韓德培	1911	—	東南中央大学	米国・カナダ	— — — — —	大陸
蕭乾	1910	—	燕京大学	英国	— — — — —	大陸
蕭公權	1897	1981	清華大学	米国	① — — — —	台湾
顧翊群	1900	—	北京大学	米国	— — — — —	台湾
儲安平	1910	1966	光華大学	英国	— — — — —	大陸

#### 註

- 1) 表の作成にあたっては、前掲謝泳『逝去的年代』396～9ページ掲載の表をもとにしたが、秦国生ほか編『中国民主党派歴史・政綱・人物』山東人民出版社、1990年、王徳林ほか主編『中華留學名人辞典』東北師範大学出版社、1992年、陳玉堂『中国近現代人物名号大辞典』浙江古籍出版社、1993年、村田雄二郎ほか編『現代中国事典』岩波書店、1999年、周家珍編著『20世紀中華人物名字号辞典』法律出版社、2000年などに拠り補綴し、「抗戦中の言論活動」を追加した。
- 2) 表の空欄は確認できなかった個所である。
- 3) \*1の王迅中は王信中のペンネームである。
- 4) 「抗戦中の言論活動」の欄の①は『今日評論』週刊(1939. 1. 1-41. 4. 3)に、②は『戦国策』月2回(1940. 4. 1-8. 15)と『大公報』副刊(週刊)「戦国」(41. 12. 3-42. 7. 1)に、③は『当代評論』週刊(1941. 7. 7-44. 2. 1)に、④は『自由論壇』月刊(1943. 2. 15-45. 3. 20)に、⑤は『民主周刊』(1944. 12. 9-46. 8. 2)に執筆したことを意味している。①④⑤は抗日期の中国の自由主義的な雑誌のうち、もっとも有名であった(Edmund Fung *Search of Chinese Democracy*, Cambridge Univ. Press, 2000, p. 184)。また②と③も西南聯合大学のスタッフを中心とした出版物で、自由主義的傾向が濃厚であった。
- 5) 「革命への態度」の欄の「大陸」は、中国共産党を支持し、1949年以後も大陸へ留まったことを示す。「台湾」は国民党を支持したことを意味している。他の地名は、それぞれ革命を避けた場所を指している。なお、\*2の任鴻雋が大陸に留まったことは、中村元哉のWeb上の情報提供による(<http://www016.upp.so-net.ne.jp/dragon-china99/contents.html>、2007年3月14日閲覧)。\*3の呉世昌は1948年に留学に出発し、1962年に中華人民共和国へ帰国した。\*4の郭有守は1966年に台湾から、大陸へ亡命した。

表 4 1949年革命前後の民建指導部

氏名	I (1945. 12)		II (1952. 7)		生年	没年	本籍	備考
	職務	職名	職務	職名				
胡厥文	常務理事	常務委員(8)	常務委員	江蘇嘉定人	1895	1898	遷川工商聯のリーダー。新民機器廠総経理	
黄炎培	常務理事	主任		江蘇川沙人	1878	1965	職業教育社のリーダー。民盟の創設メンバー	
章乃器	常務理事	副主任(1)		浙江青田人	1897	1977	元救国会の指導的幹部。抗戦中は安徽省財政庁長	
李燭塵	常務理事	副主任(3)		湖南永順人	1882	1968	遷川工商聯のリーダー。久大塩業総経理	
胡西園	常務理事	常務委員(17)		浙江鎮海人	1896	1983	遷川工廠聯のリーダー。中国工業総聯合会理事長。	
黄墨涵	常務理事	副主任(5)		四川永川人	1882	1955	国民政府の四川省財政庁長。四川省銀行総経理	
施復亮	常務理事	常務委員(19)		浙江金華人	1899	1970	元中共、国民党改組派。四川省銀行研究所副所長	
楊衛玉	常務理事	秘書長		江蘇嘉定人	1888	1956	上海尚賢堂書院卒業。職業教育社のメンバー	
孫起孟	常務理事	常務委員(11)		安徽休寧人	1911		職業教育社(重慶)総書記。中共黨員。	
章元善	常務理事	常務委員(14)		江蘇蘇州人	1892	1987	コーネル大学卒業。華洋義賑会総幹事。国民政府実業部合作司司長。	
呉夔梅	常務理事	常務委員(18)		江蘇武進人	1906	1990	横浜工専を卒業。遷川工商聯のリーダー。	
彭一通	常務監事	常務委員(5)		湖南岳陽人	1887	1958	同盟会のメンバー。広東省政府秘書長などを歴任。	
冷雲澄	常務監事	常務委員		江蘇丹徒人	1882	1959	同盟会のメンバー。職業教育社のリーダー。	
張雪紳	常務監事			福建連城人	1905	1988	職業教育社に参加、永興造紙廠の副経理。	
李祖丙	常務監事			浙江鎮海人	1917		安徽六河溝煤鉱の責任者。抗戦期は六廠連合会の理事長。	
劉丙吉	常務監事	副主任(2)		湖北贊天人	1917		抗戦期は四川省銀行経済研究処編訳科長。	
南漢宸	常務監事	副主任(4)		山西趙城人	1895	1967	中共黨員、1940年延安へ。1949年、民建参加。	
盛丕華	常務監事	常務委員(1)		浙江寧波人	1882	1961	南京政府期の上海總商會会董。1946年、民建参加。	
王紹鏊	常務監事	常務委員(2)		江蘇吳江人	1888	1970	1908年、早稲田大学へ留学。中共黨員、民主促進会の創設メンバー	
王新元	常務監事	常務委員(3)		湖南長沙人	1904	1927	1927年、南洋大学卒業。1940-9年は中国機械廠の経理。	
包達三	常務監事	常務委員(4)		浙江鎮海人	1884	1957	1914年日本の明治大学卒業。1944年永達薬を設立。46年、民建参加。	
吳克農	常務監事	常務委員(6)		浙江上虞人	1897	1989	1916年浙江省農業専科学校卒業。中国茶葉業研究所所長。49年、民建参加。	
沈肅文	常務委員	常務委員(7)		浙江蕭山人	1881	1958	浙江法政専門学校卒業。北京大学学務主任。1945年、民建参加。	
周士觀	常務委員	常務委員(9)		福建福州人	1892	1984	1922年ウィスコンシン大学化学修士。49年、民建参加。	
胡子昂	常務委員	常務委員(10)		四川重慶人	1897	1991	抗戦期は四川省建設庁庁長。民建の創設メンバー。	
俞襄澄	常務委員	常務委員(12)		浙江德清人	1881	1967	同盟会、職業教育社。中国銀行の幹部の一人。	
孫曉村	常務委員	常務委員(13)		浙江余杭人	1906	1992	救国会(南京)責任者。1949年、民建参加。	
凌其峻	常務委員	常務委員(15)		上海人	1897	1968	清華学堂を経てオハイオ大学へ留学。北京仁立実業公司副経理。	
張綱伯	常務委員	常務委員(16)		浙江寧波人	1885	1969	1906年、上海高等実業学堂卒業。明華銀行上海総行総経理。	
陳巳生	常務委員			浙江海寧人	1893	1953	46年、民建参加。民主促進会の創設メンバー、1945年、民建に参加。	

楊美真	1904	湖北孝感人	女性。留米後、YMCAの総幹事。民建の設立時のメンバー。
劉一峯	1896	江西吉安人	武昌南師教育科卒業。広西省民団幹校主任教官。
簡玉階	1875	広東仏山人	南洋煙草会社の創設者。
羅叔章	1899	湖南岳陽人	女性。1934年、中共入党。中国婦女聯誼会常務理事。45年、民建参加。
陳維稷	1902	安徽青陽人	英国のリーズ大学卒業。交通大学教授。1939年、中共に加入。
龔飲冰	1906	広東揭陽人	中共南方局經濟組組長。1949年、民建参加。
許滌新	1888	湖南長沙人	1916年東京帝國大学卒業。金陵兵工廠の工務科長。51年、民建参加。
傅華亭	1907	江蘇嘉定人	女性。ドイツで化学を学ぶ。1949年、民建参加。
李承干	1907	江蘇嘉定人	女性。ドイツで化学を学ぶ。1949年、民建参加。
浦潔修	1907	江蘇嘉定人	女性。ドイツで化学を学ぶ。1949年、民建参加。

註：Ⅰは成立大会で、Ⅱは民建の第二次総会拡大会議で決定された指導部。人名の配列順は、前掲『中国民主建国会大事記（初稿）』に拠る。人物の略歴は秦国生ほか編『中国民主党派歴史 政綱 人物』山東人民出版社、1990年および中国民主建国会中央委員会宣伝部編『中国民主建国会史稿』民主与建設出版社、2000年などを使用した。詳しくは水羽信男「施復亮—抗戦勝利後の都市中間層と都市文化」曾田三郎編『中国近代化過程の指導者たち』東方書店、1997年、130-1頁を参照のこと。なお表中の空白は不明の個所である。

表5 『光明報』主要執筆者

人名	編数	人名	編数
黄葉眠	22	高瀾	5
陸詒	15	秋楓	5
劉思慕	14	梁純夫	5
楊群	9	楊奎章	5
曾昭掄	9	章伯鈞	5
沈志遠	9	宋雲琳	4
鄧初民	8	薩空了	4
周新民	8	陳此生	4
羅子為	8	郭沫若	4
秦牧	6	陶大鏞	4
李伯球	6	趙瀾	
晨曦	5		

表6 「民主派」知識人一覧

人名	生年	没年	出身	学歴	職歴	党派関係	覚書	別称
于邦齊	1893	1949	四川謝洪人 (蔣 61p.)			政団同盟(1942)(蔣)	1949年12月7日,国民特務により成都で生き埋め(蔣)	
鄒公復	1892	1949	江西吉安(四川自貢)(蔣 201p.)	北京大学財政経済学(政説)(蔣)	四川省立高級商業学校校長, 西南実業協会, 華康銀行協理(蔣)	職教(1942)(蔣), 民建(中央理事)(邱)	五四期, 北京大学学生自治会主席, 北京大学社会学主義研究会(李大釗)(蔣)	祥禔(蔣)
閻宝航	1895 or 1894	1968	遼寧海城人 (陳 846p.)	留英(張)	奉天青年会総幹事, 重慶経済委員会委員(陳), 社会学者(張)	東北系(張), 国民党(第一次合作時), 中共(1937入党)(陳), 民建(監事)(邱)	外交部・公庁副主任(陳)	玉衡(陳)
王紀華	1910	1984	浙江寧波人 (上海生)(秦 392p.)		『小職員』, 『生存線』, 『蘭生』の主編(秦)	上海職業界救国会(1935), 中共(1936入党), 民盟(蔣)		
王孝緒						民建(中央理事)		
王載非						民建(中央理事)		
王之浩						民建(中央理事)		
王紹鏊	1888	1970	江蘇吳江人 (陳 43p., 秦 512p.)	早稲田大学政治経済科(1911卒)	国会衆議院議員(1913-22; 北京, 広州), 三省連合会(1927; 沈鈞儒, 褚輔成)	民進(中央理事)(邱)	中華民国連合会(1911; 章炳麟と中華民国連合会), 1936 国民党により逮捕(-1938)	却塵(秦)
王靖方								
王葆真	1879 or 1880	1977	河北深沢人 (陳 52p.)	留日(陳)	護法国会衆議院議員(陳)	同盟会・民革(中央常委)(陳)	辛亥革命参加(陳)	卓山(陳)
汪世銘	1896	1977	安徽桐城人 (秦 227p.)	清華学校, 留米(費金尼軍軍学校, コロンビア大学研究院)	東北軍団長, 湖南大学教授, 国民政府軍委会外事局少将副局長(秦)	国社党(1932→1947; 民社党革新派)(秦)	人代(1-3)(秦)	

夏炎徳	1911	-	上海南匯人 (蔣 190p.)	暨南大学経済系(1935), ロン ドン経済政治学院進修 (-1938) (蔣)	暨南大学, 四川大学, 中央大学, 上海商学院, 東吳大学 (蔣)	民建(中央理事) (蔣)	1949 年以後, 復旦大学教授	
賈觀仁	1893	1950	上海市人(蔣 193p.)	東京高等師範学校(学 習) (蔣)	南京工業專家学校, 上海務本女 中等学校校長, 中華職業学校校 長(1931) (蔣)	職教(蔣), 民建(監事) (邱)	中華職業学校の恢復工作 に従事(蔣)	佛如(蔣)
何公敢	1889 or 1887	1977	福建閩侯人 (陳 375p.)	京都大学(陳)	福建塩政監督, 上海商務印書館 什纂部主任, 福建省政府秘書長, 福建人民革命政府・海省省長 (陳)	民革(中央常務委員 1948) (☆)	福建事変参加(・海省省 長) (陳)	松齡(陳)
柯靈	1909		浙江紹興人 (秦 550p., 陳 660p.)		明星影片公司宣伝主任, 上海影 業公司宣伝主任, 『文匯報』主筆, 『周報』総・人(秦)	民進(中央理事)	政協(2, 3, 4, 5, 6, 7), 文匯 報総編集, 上海作家協会副 主席, 中国電影家協会理事 (秦)	高季琳(秦)
郭翹然	1901	-	広東梅县人 (秦 307p.)	広東法政学院(1927-1930 卒) (秦)	国民党陸軍第一師正訓処上尉科 員(1931), 第七戦区政治部第一 組少将組長(1941) (秦)	国民党(1925-1926), 中共 (1929-1930), 臨委(1931→農 工), 民盟(1944-)	広東省梅県で遊撃運動 (1947), 広東省政協副主席 (秦)	文恩(秦)
郭則沅	1906	1973	陝西臨潼人 (楊 723p. 留 学 600p.)	留日(楊), ドイツ普魯士高等 警察学校(1933 卒)	教授(張), 楊虎城部政訓処長 (楊)	西北系(張) 解委・農工(楊)	西安事変関与, 人民共和国 第1・2・3 期全人代, 第2・3・ 4 政協委員・副秘書長(楊)	
韓兆鵬	1893	-		北京師範大学卒(志)	西安事変後, 長安県長(志)	西北系(張), 第三党, 民盟, 農工 民主党(志)	全人大代表, 中央人民監察 委員会委員, 陝西省人民政 府副主席(志)	卓如(志)
閔夢覺	1913	1990	吉林懷徳人 (滿族) (秦 215p.)	東北大学経済系(1933 卒)	国民党軍事委員会政治部第三庁 中校科員(1930 年代後半), 洛陽 中国工業合作協会晋豫区経済研 究所所長(1940 年代初め), 東北 行政委員会社会調査所副所長 (1946) (秦)	民盟(1944)	政協委員・常委(3-7) (秦)	閔士元・閔 守城(秦)

季方	1890	1887	江蘇海門人 (秦 678p.)	保定軍官学校(秦)	黄埔軍官学校特別官佐(1924), 蘇皖辺区政府副主席(抗戦中), 華東解放軍官教導總団団長(解 放戦争)(秦)	臨委(1930→農工)(秦)	辛亥革命と袁討に参加,政 協委員・常委・副主席 (2-6),全人大(2-5)(秦)	正成(秦)
丘哲	1885	1959	広東梅县人 (陳 120p.)	留日(張)	広東省銀行行長,啓智書局 (1927)(陳)	同盟会・農工(中常委・秘書 長)(陳)・第三党(張),福建事変 に参加(陳)・臨委(☆)	福建事変関与(陳)	映芙(陳)
許広平	1898	1968	広東番禺県 (祖籍福 建)(陳 227p.)	天津女子師範,北京女子師範 大学	以“敬無名人物”協助魯迅,魯 迅全集編纂従事(陳)	上海人民団体聯合会(陳),民進 (候補理事)(邱)	魯迅夫人・上海人民団体聯 合会,日本軍により逮捕 (1941)(陳)	景宋,許秀, 音波(陳)
許徳珩								
姜慶湘	1915		浙江瑞安人 (秦 453p.)	大阪商科大学予科卒	皖南新四軍政治部『抗敵報』編 集(1938),桂林新中公司専員,四 川銀行經濟研究処専員,上海法 政学院,上海商学院教授(秦)	救国会(文化界,職業界)(秦),民 建(中央理事)(邱)	馮玉祥の家庭教師(1943 後),建国後,復旦大学教 授,上海社会科学学院經濟研 究所教授,政協(6,7)(秦)	蔣業(秦)
姜震中								
魏如	1897	1966	浙江諸暨人 (秦 476p.)	交通大学電機科(秦)上海工 業専門学校(蔣)	怡和機器公司工程師,新中公司 工程師,廠長(1930)(秦),民生煉 鉄廠(蔣)	民建(監事)(邱)	建国後,新中公司總經理, 全人大(1-3)(秦)	-
嚴景耀	1905	1976	浙江省余姚 人(秦 526p.)	燕京大学(1928卒),ニューヨ ーク『社会服務学院』→シカ ゴ大学(1934, ph. D.)→ロン ドン政治經濟学院で学び,ソ 連中国問題研究所で働く (秦)	燕京大学講師,上海公共租界工 部局副典獄長,上海新華銀行秘 書,燕京大学教授(1947)(秦)	民進(中央理事)(邱)	全人大代表(1-3),新政协 全体代表(1)	
胡一声	1905	-	広東梅县人 (秦 294p.)	中山大学(1926入),明治大学 新聞研究部(1936.6卒)(秦)	加影華僑中学(1932:マレーシ ア),香港中国通信社主任 (1941)(秦)	中共(1926-?) (秦)	政協委員(2)(秦)	胡水廷・蔡 若愚・何家 烈(秦)



黄葉眠	1903	1987	広東梅县人 (秦 326p.)	広東高等師範学校英文系 (1925卒)	桂林国際新聞社総編集(1938), 『人民報』(香港農工 党, 1946-1948), 『光明報』主編 (秦)	中共(1928-), 民盟(1944)	逮捕(1934-1937), 人代(1・ 2), 政協委員・常委 (3-6) (秦)	黄吉, 黄訪, 陳子林(秦)
江問漁	1885	1961 ?	江蘇滄雲人 (陳 218p.)	北京大学(陳)	上海光華大学教授, 大夏大学教 授, 江蘇省・河南省教育庁長(陳)	職教派(・事部主任) (張) (陳)		江恒源(陳)
高崇民	1891 or 1890	1971	遼寧開原人 (陳 768p.)	留日		同盟会, 国民党(1924参加, 後離 脱), 中共(1946) (陳)	東北救亡総会, 西安事変関 与(陳)	李延祿(陳)
吳葵梅	1906	1990	江蘇武進人 (秦 426p.)	同済大学工科卒業, 横浜高等 工業学校応用化学科(1932 卒)	上海中華学芸社人事諮詢所総幹 事, 上海中国標準鉛筆廠廠長	民建(中央理事) (邱), 工協, 遷 川工廠連合会	上海鉛筆工業公司經理, 新 政協(1: 全体懷疑代 表, 2-4: 全国委員, 5-7: 政 協常委(秦)	
吳哈	1909	1969	浙江義烏人 (陳 366p.)	之江大学, 中国公学, 清華大 学(陳)	清華大学(陳), 西南聯合大教授 (張)	同盟会(1908), 民盟(陳), 教授派 (張)	文革の開始, 夫人は袁震 (陳)	吕慶, 劉恢 之, 劉勉, 劉 勉之, 吳子 直(陳)
吳鴻賓	1903	1988	甘肅天水人 (回族) (秦 255p.)	北京大学政治系卒 (1929) (秦)	寧夏省政府秘書(1934), 蘭州第 十八集團軍・事処(1937) (秦)	民盟(1945) (秦)	政協常委(1-6), 人代 (1-3) (秦)	
左舜生	1893	1969	湖南長沙人 (陳 93p.)	震旦学院(陳), 留仏(1926← 中華書局支援)	中華書局新書部主任, 復旦大学 教授, 中央政治学校(1934年蔣介 石と面談)	青年党(中常委) (陳)	曾琦, 李璜と同学(陳)	阿斗, 黑頭 (陳)
斎藤	1900	1956	黒龍江阿城 人(徐 1335p.)	奉軍随営学校(16歳) (徐)	軍学編訳社, 兵学書店(北平), 抗 戦開始後, 四川兼営印刷行	東北系(張)	立法院国防委員会委員 (徐)	民藩(徐)
薩空了	1907	1988	四川成都人 (蒙古族) (秦 329p.)		『光明報』総経理(1941), 『華商 報』総経理, 『巧妙日報』秘書長 (1949) (秦)	救国会(1937), 民盟(1945) (秦)	政協副秘書長, 人代(1, 2), 政協常委(3-6) (秦)	

史良	1900	1985	江蘇常州人 (陳 115p.)	上海法科大学(1927卒, 陳)	弁護士(1931-)	救国会(張)	女性運動の指導者, 七君子 (陳)	
施復亮	1898 or 1899	1970	浙江金華人 (一説に諸暨 人, 陳 678p.)	浙江第一師範, 留日(陳)	上海大学教授	元中共(21-7)・改組派・民建(斉 衛平) (邱)	夏衍了と『浙江新潮』発行 (斉衛平)	施存統, 伏 量, 伏図, 史 光亮, 存 統, CT, 方国 昌, 文亮 (陳)
漆琪生	1904	1986	四川江津人 (秦 475p.)	京都帝国大学経済学部(1931 卒)	上海中国公学, 暨南大大学 (1931-), 広州中山大学(1937-), 復旦大学(1945-)(秦)	民建(中央理事) (邱), 元中共 (1929-31), 第三党(蔣)	復旦大学経済系教授, 上海 市政協常委(秦)	
沙彦楷	1874	1970	江蘇武進人 (回族)(秦 227p.)	京師法律学堂卒(蔣)	衆議院議員(1920), 弁護士(蔣)	民社党(vs. 張君勱)→民社党革新 派(蔣)	政協委員(2-4)(蔣)	
車向忱	1898	1971	遼寧法庫人 (蔣 210p.)	北京中国大学哲学系(1925 卒)(蔣)	東北救亡總會(1933), 東北蘇存 小学・中学創設(1935在西安), 西北抗日大同盟(1937), 嫩江省 人民政府副主席(1946)(蔣)	中共(1946-)	人代表・政協常委(蔣)	慶和(原 名)(蔣)
沙千里	1901	1982	江蘇吳县人 (秦 427p.)	上海法科大学卒(1928)(秦)	弁護士(1931-), 工業合作協會推 進組組長, 中美汽水廠・南洋公司 (蔣)	救国会(秦), 中共(1938-)(蔣)	糧食部長, 人代表・常委 (1-5), 政協委員・副主席 (1, 5)(秦)	
朱蘊山	1887	1981	安徽六安人 (秦 82p. 楊 619)	安徽法政学堂, 巡警学堂卒		国民党入党(24), 元中共(25-8) ・臨委・革命同盟・三民主義同 志連合会・民革(秦), 光復会・同 盟会にも参加	政務院人民監察委員会委 員, 第1・2・3 全人大代表	
周勳成						民建(中央理事)		
周建人	1888	1984	浙江紹興人 (秦 548p., 陳 603p.)	北京大学政讀哲学 (1920)(蔣), 「自幼刻苦攻読, 自学成才」(秦)	1920年代初上海商務印書館で編 集に従事, 上海大学・安徽大学で 教鞭をとる(秦)	民権保障同盟, 民進(中央理 事) (邱), 中共(1948)(秦)	浙江省長, 政協常委・副主 席(1-6), 全人大常委・副委 員長(1-5)	喬峰・松寿 (字)(秦)

周鯨文	1908	1985	遼寧錦州人 (陳 612p.)	ミシガン州立大学, ロンドン 大学(陳)	北平東北大学秘書主任	東北系(張) 東北民衆自教会 (陳)	舅が張作相, 建国後香港へ (陳)	長白山人 (陳)
周新民	1896	1979	安徽廬江人 (楊 701p. 留学 485p.)	明治大学法科研究科(楊)	中国公学大学部教授, 上海政法 学院教授・教務長(楊)	教授派(張), 中共(26-) (楊)	人民共和国・公庁副主任 (楊)	
草元善	1892	1987	江蘇蘇州人 (陳 841p.)	コーネル大学(陳)	北京大学, 燕京大学教授, 実業部 合作司司長(陳), 華洋義賑会 (☆)	中国合作学社(陳), 民建(邱)		
章乃器	1897 or 1896	1977	浙江青田県 (陳 840p.)	浙江甲種商業学校	浙江実業銀行副經理(1932), 中 国銀行公会理事, 安徽省財政庁 長(陳)	救国会(1941 離脱)・民建(邱)	原名珽, 改名乃器(以《老 子》: “埏埴以為器” 一語 而改)(陳)	金峰, 嘉生 (陳)
章伯鈞	1895	1969	安徽桐城人 (楊 743p. 留 学 654p.)	武昌高等師範, ベルリン大学 (1922-1926)(楊)	中山大学教授(楊)	元中共(23-7)・臨委(中央幹部会 幹事)・農工(中央主席)(楊 743p.)	北伐・南昌起義・福建事変 (経済委員会・土地委員会 主任)参加(楊)	
蒋勻田						国社党(張)		
蕭敏頌								
肖万成						民建(中央理事)		
肖倫豫						民建(監事)		
鍾復光	1903		四川江津人 (女)(秦 455p.)	上海大学社会学系卒(秦)	武漢中央軍事政治学校女生輔導 員, 北平求实中学教員, 上海進化 書局編集(秦)	中共(1924-1927), 民建(監 事)(秦)	施復亮夫人, 全人大(3), 政 協(5, 6)(秦)	
沈鈞儒	1875	1963	浙江嘉興人 (生まれは蘇 州陳 415p.)	進士(1904), 留日(-1907 陳)	弁護士, 上海法学院教務長(陳)	同盟会, 民権保障同盟, 救国会 (陳)	20年代は自治運動に従事 (☆)	衡山(陳)
沈志遠	1902	65	浙江蕭山人 (陳 411p.)	上海交大付中(1922), モスク ワ中山大学(1926-29 陳)	上海暨南大学教授, 北平大学法 商学院経済系主任(蒋 84), 重慶 生活書店総編集(陳)	救国会(張, 蒋 84), 元中共 (25-33)(陳)	レーニン全集中国語訳に モスクワで参加(陳)	沈範瀾(陳)
沈子修								
沈肅文	1881	1985	浙江蕭山人	浙江兩級師範学校, 浙江法政	『新教育』編集, 浙江大学, 北京	民建(監事)(邱)	建国後, 軽工業部財政司司	

申葆文					大学事務主任、会計主任、西南聯合台学秘書、浙光中学校長(自身が設立、1947) (秦)				長(秦)	
辛志超	1908	75	山東海陽人 (楊 624p.)	燕京大学(張)	北京基督青年會職工部主任、基督青年會軍人服務部西北区主任(楊 624p.)	救国会(張)		全国人代常委、政務院秘書長(楊)		
徐素軒	1897	1985	遼寧遼陽人 (秦 318p.)	東京大学政治専門部(1917卒)、留仏(パリ)大学文科研究院社会学研究員(1929-37)	国民党遼寧省党部常委(1927)、東北救亡總會(1937以後)、東北政治建設協會(19454)、東北行政委員會委員兼社会調査所所長(1946以後) (秦)	国民党(1925-) (秦)		長春市副市長、政協委員(2)、人代(2-5)	永齡(原名) (秦)	
徐崇林	1906	-	四川江安人 (秦 456p.)	北平大学工学院化工系(1931卒) (秦)	重慶大学講師、大成制革廠廠長兼總工程師(1939後)、中央工業專家学校教授(秦)	中国中小工廠連合会、中国民主革命同盟(1947) (秦)、民建(中央理事) (邱)		重慶市政協副主席、全人大代表(1)		
徐仲航						東北系(張)				
徐伯昕	1905	1984	江蘇武進人 (秦 556p.)	上海中華職業学校班班(1922) (秦)	生活書店總經理、『民主』創刊(1945)、三聯書店總經理(1948)	中共(1944)、人民救国会、民進(監事) (邱)		人民政協委員、常委(1-5)、全人大(1-3, 5)、中央人民政府出版總署・公庁副主任、中国出版者協會副主席(秦)		
徐傳霖	1879	1958	広東和平人 (陳 756p.)	秀才、早稲田大学(陳)	益友者(張繼)、政学会(李根源)、司法部部長・代理大理院院長(陳)	国社党(張)、同盟会、脱退、国社党、民社党(中常委兼宣傳部長)		台湾へ、『民主中国』発行人(陳)	卓杲(陳)	
聶国青	1884	1966	湖北沔陽人 (蔣 128p.)	湖北講武学堂(蔣)	浙江省政府秘書(1933頃)、湖北省民政庁主任秘書、国民政府財政部(抗戦中-1947)、教師(蔣)	福建人民政府に参加(蔣)、民盟(1944頃-)		全人大(1)、湖北省副省长(蔣)	松翹(蔣)	
成柏仁										
鮮英	1885	1968	四川西充人 (秦 343p. 軍)	四川陸軍促成学堂(軍閥 577) 北京陸軍大学(秦)	劉湘部參謀長、四川第十一区行政督察專員・保安司令、重慶面粉	川康系(張)、同盟会(秦)		彼の重慶の家は“特園”、“民主之家”と呼ばれ	号・特生(秦)	

			関 577)	公司董事長(秦)				る(秦)
千家駒	1909	-	浙江義烏人 (秦 177p.)	北京大学経済系卒 (1932)(秦)	広西大学教授、『中国農村』、『経 済通訊』主編(秦)	救国会(常委),民盟(1945)(秦)	中国人民銀行顧問,清華大 学教授,政協委員・常委 (2-7)(秦)	
曾琦	1892	1951	四川隆昌人 (陳 903p.)	震旦大学,中央大学 (1916-1918 留日)・留仏(陳)	新聞報駐欧特派員,大夏大学教 授(陳)	青年党(中執委)(陳)	廬山会議へ参加,革命に際 し米国へ(陳)	愚公(陳)
曾昭掄	1899 or 1898	1967	湖南湘鄉(一 作長沙)人 (陳 902p.)	清華学校(1919),マサチュー セッツ工科大学化学博士 (陳)	中央大学,北京大学,西南連合大 学教授(陳)	教授派(張)	1949年以後,中国科学院化 学研究所所長(陳)	
曾庶幾						川康系(張)		
曾庶凡						川康系(張)		
楚函南	1899	-	雲南文山山人 (陳 915p.)	北京高等師範	雲南大学,上海法学院教授(陳)	教授派(張),中共(1926)(陳)	1949年以後,对外文化協会 会長(陳)	高寒(陳)
莊茂如						民建(中央理事)		
曹鴻翥						民進(中央理事)		
曹梁厦						民進(中央理事)		
孫起孟	1911		安徽休寧人 (秦 413p.)	東呉大学政治学系(1930 卒)		中華職業教育社副総幹事,民建 (中央理事)(邱)	政協常委(1-6),全人大 (1-5)	
孫宝毅	1894 ?	1981 ?		保定軍官学校説あるも典拠 不明		国民党(張)-		
戴子良								
儲一石								
張雲川	1903	1965	江蘇肖县人 (楊 672p.)	黄浦軍校六期(楊)	北伐軍団政治指導員,国民政府 軍委会戦地党政委員会指導員 (楊)	臨委(中央臨時執行委員)・農工 (中央常委)(楊)	第一期全人大代表	
張君勱	1887	1969	江蘇宝山人 (陳 448p.)	秀才,早稲田大学政治経済科 (1906-1910),ペルリン大学 (1913-16 陳)	馮国璋總統府秘書長,北京大学 教授,上海国立自治学院院长,大 夏大学董事長(陳)	政聞社(梁啓超),共和建設検討 会,1946.12 民盟退出,国社党,民 社党(陳)	1949.4 出国,米国へ(陳)	張嘉森(陳)
張志和	1894	1975	四川邛崃人	保定軍校(陳)	川軍參謀,辛壘書店,健誠美業公	川康系(張),中共(1927-離党)	周・西康省主席劉文輝会談	張志蘇,李

張申府	1893	1986	(陳 443p.) 河北獻縣人 (陳 436p.)	パリ大学哲学博士(陳), 留仏 ・独(留学 362p.)	司(成都)・臨邛茶廠(陳) 北京大学, 清華大学教授(陳) ・臨委・救国会・民盟(1948 除 名)(☆), 農工顧問(陳)	-1936 以後党籍恢復(陳) 救国会(張), 元中共(1921-1925) ・臨委・救国会・民盟(1948 除 名)(☆), 農工顧問(陳)	(1942), 右派(1957), 名誉 回復(1979) (陳) 五四期以来の活動家(陳)	凡夫(陳) 張赤, 張嵩 年, 老侯, 算 史 氏, TSS(陳)
張瀟霖					民建(中央理事)			
張雪澄	1905	1988	福建連城人 (案 434p.)	上海群治大学卒	中国航空公司, 『国語』編集, 職 教社重慶職業指導所総幹事, 永 興, 振濟造紙廠副經理(案)	職教, 民建(監事)(邱)	民建中央委員(1-4)	
張東森	1887 or 1886	1973	浙江杭县人 (陳 436p.)	東京帝大(陳)	孫中山臨時大總統府秘書, 光華 大学文学学院院长(陳)	国社党(陳)	建国後スパイ容疑で逮捕 (51), 1920 共産党組織に関 与, 抗戦時期北京で日軍に 逮捕, 北京で死去(陳)	万田, 聖心 (陳)
張畢来	1914		貴州凱郷人 (案 271p.)	浙江大学(1937 卒)(案)	上海女子中学教師, 桂林師範学 院講師(案)	中共(1938-), 民盟(1946)(案)	政協委員・常委(4-7)(案)	丁東(筆 名)(案)
張文	1888	1960	広東海县人 (徐 885p.)	秀才, 北洋将弁学堂(徐)	北京政府陸軍部編訳處副處長, 国民革命軍總司令部參事(1926)(徐)	民盟(広東省支部負責人)・民革 (中央委員)(民国人物大辞典)	政務院陰險政治法律委員会 委員(徐)	
張鳳学								
張瀾	1872	1955	四川南充人 (陳 478p.)	秀才(陳)	四川省長, 成都大学校長(陳)	川康系(張)	四川保路同志会指導者 (陳), 20 年代は自治を鼓吹 (☆)	表方(陳)
陳鈞						民建(中央理事)		
陳啓天	1893	1984	湖北黃陂人 (陳 508p.)	中華大学政治經濟別科(武 昌), 南京高等師範(東南大 学)教育科(陳)	中華書局編集, 国民政府經濟部 長(1947)	少年中国学会(1919), 青年党 (陳)	台湾で総統府国策顧問 (陳)	寄園, 無生, 陳明志, 李 致園, 吳竹 清, 陳霜 (陳)
陳汝棠						民盟(南方総支部副主任委		

田一平	1907	雲南瀘溪人 (案 201p.)	上海労働大学卒	(1932), 1937 西安へ。『救亡』編集 (陳)	民盟(1944)	政協委員(3), 人代 (2, 3, 6), 民盟重慶市支部 組織部長(案)	斉化(字) ・苗泰来 (案)
杜斌丞	1888	陝西米脂人 (陳 258p.)	北京高等師範史地部(1917)	榆林中学校長, 第十七路軍楊虎 城部総参議, 陝西省政府秘書長 (陳)	西北系(張)	西安事件に關与(楊虎城と 關係)・国民党暗殺 (1947)(陳)	
陶行知	1891	安徽歙县人 (陳 790p.)	金陵大学文学系(1914卒), コ ロンビア大学(デュー イ)1916 帰国(陳), 教育博士 (張)	南京高等師範学校教授務長, 東南 大学教育主任	職教派(張), 救国会(陳)	中華教育改進社, 山海工学 団(陳)	何如, 何日 平(陳)
鄧初民	1889	湖北石首人 (陳 84p. 蔣 65, 留学 82p.)	江漢大学(1912), 留日(法政 大学, 1913-1917)(陳)	暨南大学, 法政大学教授, 中国社 会科学家連盟主席(陳), 広西大 学	教授派(張), 救国会(1941), 民革 (1947), 元国民党(25 入党, 留学 82p.), 中共(1962)(陳)	全人代常委, 全国政協常委 (陳)	田原, 肥豚 (陳)
鄧建中					民建(監事)		
董時進	1900	四川墊人(徐 1274p.)	清華学校, コーネル大学(農 学博士)	国立北平大学農学院院長, 国民 政府国防設計委員会委員(徐)	中国華洋義賑救済總會農利股主 任, 中華平民教育促進会幹事 (徐)		
董問樵					民建(監事)		
董幼嫻	1920	四川宜賓人 (女)(案 468p.)	四川大学経済系, フラゲル イア彭徳山学院留学 p. (1946-48)(案)	四川峨眉県立女中英語教員, 四 川省銀行經濟研究処副科長	民建(監事) 民建(監事)(邱), 民盟(留学p. 名人辞典)	上海市財経委員会總合計 画処副科長, 政協常委 (7)(案)	
寧芷郁	1895	湖北麻城(四 川隴為生れ, 蔣 154p.)	北京法政専門学校(1919 入)(蔣)	長寧県知事, 劉文輝下で国民党 命軍駐紮・事処処長(1926), 華西 公司(1932), 川康平民商業銀行 総経理(1937)(蔣)	民建(中央理事)(蔣)	新華保險公司經理, 重慶市 政協委員(蔣)	宗礼, 子春 (蔣)
齊武	1884	遼寧海城人		同盟会, 中国国民党党史修纂委 員	1949 年以後, 民革遼寧省委員会	政治協商会議第2・3届全国	

			(徐 1201p.)		員委員(徐)	主任(徐)	委員會委員(徐)	
范堯峰	1915	-	浙江海寧人 (蔣 178p.)	浙江海寧山中中学(→江蘇連 河工程局→)中華職業教育社 主・の農村服務專修科 (1933)(蔣)	『国訊』編集・經理, 交通銀行農 貸視察員(蔣)	職教(中華職業教育社四川・事処 社会服務組主任)(蔣), 民建(中 央理事)(邱)	民盟へも参加, 浙江省政府 政協常務委員, 中国陶行知 基金会常務委員(蔣)	華農(筆 名)(蔣)
范朴齋	?	?					「曾為国民党員」(張)	
潘光旦	1899 or 1901	1967	江蘇宝山人 (陳 960p. 留 学 741p.)	清華学校(1922 卒), 達茂大 学, コロンビア大学研究院 (楊 779p.)	新月書店, 清華大学教授, 西南連 合大学教授(陳)	国社党(張)	『自由評論』主要執筆者 (水羽), 全国政協委員(陳)	Quentin
潘大達	1902	-	四川開縣人 (楊 777p. 留 学 739p.)	清華学校(1924 卒), 1925 スタ ンフォード, ウィスコンシン 政治学修士, 1930 帰国(楊)	上海法学院, 大夏大学, 重慶大学 (抗戰期)(楊), 西南聯合大教授 (張), コロンビア大学研究院研 究員(☆)	教授派(張), 救国会派(楊)	西南軍政委員會文教部副 部長, 第1・5 期全人大代表 (楊)	
馬叙倫	1885 or 1884	1970	浙江杭州人 (陳 21p.)	1899 杭州養正書塾(→杭州府 中学堂), 留日(1911 年夏-9 月)	上海労働大学校長, 清華大学教 授(陳), 教育部次長(1928)(☆)	同盟会(陳), 北平文化界救国界 ・民進(☆)(邱)	専門は古文字学(陳)	鄒華孫 (陳), 夷初 (字), 石屋 (号)(蔣)
馬哲民	1899	1980	湖北黃崗人 (秦 179p. 陳 21p., 蔣 62)	早稲田大学政治系 (1926)(秦)	上海暨南大学, 北平師範大学, 重 慶西南学院教務長(秦)	川康系(張), 民盟中常委(秦)	武漢法学院院長 (1950's)(陳), 北伐参加 (☆)	馬念一, 馬 彦一(陳)
費振東								
畢相輝						民建(中央理事)		
閔剛侯	1904	1971	江蘇南匯人 (今上海 市)(蔣 92p.)	東呉大学法律系卒 (1932)(蔣)	上海で弁護士(1937-), 朝陽大学 教授(抗戰中)(蔣)	救国会, 民盟(1946), 中央 (1949)(蔣)	人代(1, 2), 政協委員 (2-4)(蔣)	
傅雷	1908	1966	江蘇南匯人 (陳 888p.)	上海持志大学卒, パリ大学 ・盧佛美術史学校留学 (1927-1931or2)(陳)	上海美術教授(1931?-1934), 南 京中央古物補完委員会編審科 長(陳)	民進(候補理事)	上海市政協委員(陳)	怒庵, 傅汝 霖(陳)
馮少山	1884	1967	広東中山人	上海総商會主席, 中華全国商會	上海総商會主席, 中華全国商會	民進(中央理事), 民建(1949 加)	上海市糧食局, 第二商業	馮培燾(原)

				(秦 401p.)				連合会主席, 上海開林油漆股・公 司総経理(秦)	盟)	局, 民政局副局长, 政協 (2-4) (秦)	名) (秦)
馮素陶	1906	-	雲南禄豊人 (楊 589p. 蔣 68)	広東中山大学(1927 卒)	1928 中国社会科学連盟, 33 反帝 大同盟秘書長(楊), 西南聯合大 教授(張)	教授派(張), 中共の外郭団体 (1920's) (☆)	1927 広州起義参加, 山西省 政協副主席(楊)				
文先俊	1907	-	四川梁平人 (蔣 151p.)	北京農業大学(1926 入 学)(蔣)	山西第二師範学校, 四川省建設 庁駐渝・事処股長, 重慶煤油同業 公会理事長, 重慶市商會理事 (蔣)	中共(1927-1930; 「中共失去関 係」), 民盟(1944) (蔣), 民建(中 央理事) (邱)	中国經濟事業協進会, 太平 洋漁業公司協理(在上 海, 1946), 上海市人民政府 参事室参事(蔣)				
聞一多	1899	1946	湖北浠水人 (陳 682p.)	清華大学(陳), シカゴ美術学 院, コロラド大学(留学 542p.)	作家, 清華大学, 西南聯合大学教 授(張)	教授派(張)	北伐参加(総政治部工作), 国民党のテロにより暗殺 (1946) (陳)				
聞家駟	1905		湖北浠水人 (秦 293p.)	パリ大学, 格林羅布大学文科 (1934 卒) (秦)	北京大学講師, 西南聯合大学外 語系教授(1938-1946) (秦)	民盟(1944) (秦)	政協委員・常委(3-7), 聞一 多の「胞弟」(秦)				聞籍(秦)
彭一湖	1887	1958	湖南岳陽人 (秦 469p.)	早稲田大学政治経済系卒 (秦)	北京法政専門学校, 広東省政府 秘書長, 湖南省衡山美駿県県長 (秦)	同盟会(秦), 民建(監事) (邱)	湖南中山図書館館長, 政協 (2) (秦)				
鄧雲鶴	1900	1988	山東利津人 (女) (秦 477p. 留学 753p.)	北京女子高等師範学堂(留学 753p.), オハイオ州大学(修 士・博士・1932), ベルリン大 学(1933) 化学工程博士, 1936 帰国(秦)	燕京大学, 中央經濟委員会技正 室専員, 香港九龍金華制革廠工 程師(1937-1938), 中華麻業公司 総経理	民建(中央理事) (邱)	上海市紡績工業局技術顧 問, 全人大(1-3, 5), 政協 (1, 5, 6) (秦)				
彭沢民	1877	1956	広東四会人 (秦 695p.)			国民党左派・臨委・農工民主党 (秦)					
彭文心											
俞震澄	1881	1967	浙江德清人 (秦 451p.)	清末举人(秦)	国会衆議院議員, 中国銀行副総 裁, 証券商業同業公会理事長 (秦)	職教(秦), 民建(中央理事) (邱)	建国後, 江南造船廠董事 長, 新政協(1), 全人大 (1-3)				
余家菊	1898	1976	湖北黃陂人	中華大学(武昌), 北京高等師	中華書局, 東南大学, 中国大学教	少年中国学会(陳), 青年党(張)	台湾へ(陳)				景陶(陳)

	or 1899		(陳 390p.)	範(1921-24), ロンドン大学(陳)	授, 北京師範大学, 北京大学(陳)					
姚維鈞	1909	1968	江蘇南匯人(女)(秦 453p.)	貴陽大夏大学文學院卒(1942)(秦)	上海小学教師, 『国訊』助理編集(秦)	民建(監事)(邱)	民建(監事)(邱)	黄炎培夫人(1942結婚), 建国後, 國務院機關事務管理局秘書(秦)		
楊一波	1900		雲南路南人(蒙族)(秦 244p.)	北京法政大学(1923入), ソ連東方大学軍事班, 中国労働大学(1927-1930)(秦)	雲南大学附属中学教導主任, 路南県中学校長(1938-1946)(秦)	民盟(1943)(秦)	民盟(1943)(秦)	政協委員(3-5)(秦)	立賢(原名), 楊静庵, 李行健(秦)	
楊衛玉	1888	1956	江蘇嘉定人(陳 260p.)	上海理工専修学校, 東京高等師範	江蘇女師, 暨南大学, 大夏大学で教鞭(陳)	職教(陳), 民建(邱)	職教(陳), 民建(邱)	人民共和国政府, 輕工業部副部長(陳)	瓊(陳)	
楊栄国	1907	1978	湖南長沙人(蔣 105p.)	上海群治大学(1929卒)(蔣)	長沙文化抗日協合理事, 桂林文化出版社編導, 東北大(1944), 桂林師範学院教授(抗戦後)(蔣)	中共(1938), 民盟(1946)(蔣)	中共(1938), 民盟(1946)(蔣)	人代表・副委員長(1-4)(蔣)	楊天錫(筆名)(蔣)	
楊賡陶	1893		湖南省長沙人?	フランス農業研究院?						
楊子廉										
楊子恒	1898	1961	甘肅靈台人(秦 244p.)	陸軍大学(秦)	西北軍師長(張), 国民党一六七師師長, 五十軍軍長(秦)	西北系(張), 国民党, 解委(1942)(秦)	西北系(張), 国民党, 解委(1942)(秦)	甘肅人民政府委員, 第一期全人大代表(秦)	原名・楊渠統	
楊叔明	1894	1960	四川崇慶县人(任 257p.)	四川国学院(1909), 成都徳文学堂(1917)(任)	重慶省立第二女子師範学校校長(1924), 西康省政府委員(劉文輝麾下)(1939)(任)	少年中国学会(1919), 青年党(1924)(任)	少年中国学会(1919), 青年党(1924)(任)	1956年省公安長により地方戦犯(徒刑8年)(任)	永波(名), 菽庵(豪)(任)	
楊伯愷	1894	1949	四川營山人(陳 270p.)	留仏勤工倭学(陳)	重慶中法大訓育主任(陳), 辛壘書店(蔣 104)	川康系(張), 中共(1923入党, 28後, 上海滬東文化支部書記), 民盟(1944)(陳)	川康系(張), 中共(1923入党, 28後, 上海滬東文化支部書記), 民盟(1944)(陳)	1947逮捕, 1949成都にて銃殺(陳)	道融(陳)	
楊美真	1904	-	湖北孝感人(秦 422p.)	上海滬江大学社会学系(1930卒), フラゲルフィア(ペンシルバニア?)大学で社会学を学ぶ(1933-35)(秦)	『女声』編集, 新生女子中学校長, 金陵大学男校教授(秦)	北平女青年会総幹事, 民建(監事)(邱)	北平女青年会総幹事, 民建(監事)(邱)	北平女青年会総幹事, 貴陽女青年会総幹事(秦)		

楊明軒	1891	1967	陝西鄜州人 (陳 272p.)	留日, 北京高等師範(陳)	陝西省立一師校長, 上海大學教師(陳)	元国民党(25-27)(☆), 中共(1926-1928, 1938 党籍恢復)(陳)	西北各界抗日救国会交際部部长, 杜斌丞と活動, 西安事変に關与(陳)	金陵(陳)
葉篤義	1912	-	安徽懷寧人 (秦 199p, 蔣 70)	燕京大學 1934 卒(秦)	北大講師(張), 北京臨時大學で教鞭(秦, 蔣 70)	国民党(張), 民盟(解散前, 宣传部副部长, 秦, 蔣 70)	下関惨案の被害者, 政務院政法委員会委員兼副秘書(秦)	
羅涵先	1922		江蘇淮陰人 (秦 284p.)	上海法学院(1943 卒)	『工商新聞』編集部主任(1944-1949)	救国会(張), 職教(幹事)(秦)	全国政協副秘書長・公庁主任, 中国人民銀行總行研究室専門研究委員(秦)	羅學賢(秦)
羅子為	1910	1958	安徽和県人 (秦 284p, 蔣 111)		中国工業合作協会視察, 国民政府社会部全国合作事業管理局專員, 行政院善後救济總署視察(秦)	鄉村派(張)	政務院參事, 合作總社籌委會工芸美術局局長(秦)	
羅叔章	1899		湖南岳陽人 (女)(秦 441p.)	暨南大學政治經濟系卒(1931)(秦)	戰時兒童保育委員會直屬第一保育院院長, 中国婦女連誼會常務理事, 中国經濟事業協會常務理事(秦), 国民政府交通部(蔣)	民建(中央理事)(邱), 中共(34-), 婦女界救国会	全人大(1, 2, 3, 4, 5, 6)(秦)	
羅忠信						川康系(張)		
羅隆基	1897 or 1898	1965	江西安福人 (陳 584p.)	清華學校, コロンビア大學, ロンドン大學(水羽)	『益世報』主筆, 光華大學, 西南連合大學教授(水羽)	教授派(張), 国民党(のち離党)(水羽)	1986 年 10 月民盟中央集會記念誕生 90 周年開催	努生, 魯參, 曉瞻(陳)
駱賓基	1917		吉林琿春人 (原籍山東平度, 陳 702p.)	哈爾濱精華學院(1935)(陳)	作家	東北系(張), 中共(1938-1940 和党失去關係)	中国文聯委員, 中国作家協會理事(陳)	張普君, 金陽(陳)
李璜	1895	-	四川成都人 (陳 340p.)	震旦學院(1916 卒), パリ大學(1918. 12-24)(陳)	武昌大學, 北京大學, 成都大學(陳)	少年中国学会(1918), 青年党(陳)	『新路雜誌』を張君勸らと上海で創刊(1928), 革命に際しては台湾へ	学鈍(陳)
李公樸	1902 or	1946	江蘇常州人 (原籍揚州,	滬江大學, 留米(陳)	『申報』流通図書館創設, 『讀書生活』艾思奇と出版(陳 297p.)	国民党(1927. 4. 12 離党), 救国会(陳)	北伐參加, 国民党により暗殺(陳)	長嘯(陳)

1900	生于淮安, 陳 297p.)								
李焯深	1885 or 1886	1959	廣西蒼梧人 (原籍江蘇, 陳 325p.)	北京陸軍大學(陳), 北京軍官學堂(張)	國民革命軍總司令部參謀長, 黃埔軍校副校長(陳)	秘密黨員(張), 民革(陳)	福建事變関与		
李士豪	1914		廣東梅縣人 (蔣 299p.)	交通大學唐山工程學院土木工程系(康奈尔大學) 水利工程系(蔣)	國民政府水利部工程師・技正(蔣)	九三學社(中央理事)(邱)	中國水科學會名譽理事(蔣)		
李章達	1890	1953	廣東東莞人 (陳 331p.)		大元帥府參軍(陳), 第四戰區軍法執行總監	第三黨(張), 同盟會, 福建人民政府, 民族革命大同盟(1937), 民革(中常委)(陳)	武昌起義・福建事變參加(陳)	南溟(陳)	
李燭塵	1882	1968	湖南永順人 (土家族)(秦 418p.)	清末秀才, 東京高等工業學校電氣化學科卒(秦)	久大精鹽公司技師(1918), 永利碱公司副總經理, 遷川工廠聯合會理事長, 久大塩業公司總經理(1947)(秦)	民建(中央理事)(邱), 中國經濟事業促進會, 中國工業協進會(秦)	旧政協, 食品工業部・輕工業部部長, 政協常委・副主席(1-4), 全人大(1)	李華晉(秦)	
李相符	1907	1963	安徽桐城人 (楊 653p. 留學 261p.)	東京帝國大學(留學 261p.), 北海道大(☆)	浙江大學, 武漢大學, 四川大學(楊)	教授派(張), 中共(?) (☆)	林墾部副部長, 北京林學院院長(楊)		
李祖紳			浙江鎮海人 (秦 419p.)		安徽六河制鉄公司總經理, 六廠聯合會理事長(秦)	民建(監事)(邱)	抗戰中は重慶へ(秦)		
李伯球	1905	1986	廣東梅縣人 (陳 312p. 留學 254p.)	1934 留日(陳)		第三黨(張), 臨委(32)・解委(陳)	國民革命軍參加(1927)	李琳(陳)	
李伯剛	1901	1976	湖北天門人 (陳 312p.)			中共(1921-1925, 1947-) (陳)	武漢市人民政府秘書長(陳)	漢石(字)	
李數仁	1899	1958	陝西咸陽人 (秦 240p.)	東京東亜高等予備學校卒(1931)(秦)	延安大學校長(解放戰爭期)(秦)	中共(1937-) 民盟(1944)	西北人民大學校長, 人代(2, 3)		
李文宜	1903	-	湖北武漢人 (女)(楊)	湖北女子師範學校(1919), 壬戌ワフワ中山大學	湖北省党部	教授派(張) 中共(1932 王明を批判し除名, 1946 復党)(楊)	中央労働部・公庁副主任, 第1-3 全人大代表		

柳亜子	1887	1958	647p. 留学 244p.)	(1928-31) (楊) 秀才(16歳) (陳) 雲南講武堂(陳)	ジャーナリスト, 南社, 上海通志 館館長(陳) 雲南省政府主席 1928-1945. 10 (陳)	国民党監察委員(陳), 国民党(皖 南事変批判で除名)・民革(☆) 秘密黨員(張), 民革(陳)	右派認定, 1980 名譽回復	景山(陳) 志舟(陳)
龍雲	1884 or 1887	1962	雲南昭通人 (陳 97p.)	雲南講武堂(陳)				
劉王立明	1896	1970	安徽太湖人 (女) (楊 614p.)	イリノイ州ノースウエスト 大学(楊)	中国婦女聯誼会, 婦女職業学校, 中華婦女節制会会長	救国会(張), 中国人権保障委員 会(陶行知など)設立(1946) (楊)	1943 年第三期国民参政会 で国民党批判, 参政員を取 り消される, 57 年右派, 81 年名譽回復(楊)	
劉泗英	1896	-	四川南川人 (徐 1426p.)	日本・法政大学(徐)	川東師範教師, 東林煤鐵公司董 事長・総経理, 四川省銀行經理処 処長, 台湾で交通銀行董事(徐)	青年党(抗戦勝利後, 中常委, 秘 書長) (徐)	制憲・行憲国民大会代 表, 49 年革命に際しては台 湾へ(徐)	懷園(徐)
劉子周						青年党(張)		
劉清揚	1894	1977	天津人(女) ・回族(陳 206p. 留学 176p.)	勤工儉学留仏(陳)	重慶婦女連誼会常務理事(陳)	救国会(留学 176p., 張), 元中共 員(21-7(蔣 76), 61 重新入党 (陳))・人民救国会(☆)		念五(陳)
劉東巖	1904	1976	四川省資中 人	成都大学	合江県県長, 国民大会の副秘書 長(徐 1423p.)	青年党(徐 1423p.)	1949 年革命に際しては台 湾へ(外交部顧問)	
劉伯英	1883	1941	湖北人(徐 1422p.)	京師大学堂, 日本・明治大学, 商船学校海軍系	湖北海軍督練公所教練, 広州大 本當諮議(1924) (徐)	同盟会(1905) (徐)		秦(徐)
劉伯昌						民建(監事)		
劉文輝	1895	1976	四川大邑人 (陳 184p.)	保定軍校(1916 卒) (陳)	四川省政府主席, 国民党中央委 員, 西康省主席(陳)	秘密黨員(張), 民革(中常 委) (陳)	鄧初民と唯民社設立 (1941), 革命に際しては中 共へ(陳)	自乾(陳)
劉丙吉	1917		河北贊皇人 (秦 407p.)	北京大学法学院卒(秦)	南方印書館副廠長, 四川銀行経 済研究処編訳科長, 高級研究院	民建(監事) (邱)	1949 年以後, 西北商業局秘 書室主任(秦)	

梁漱溟	1893		1988	廣西桂林人 (陳 853p.)	直隸公立政法政專門學校(陳)	(案) 司法總長秘書, 北大教授, 河南村 治學院教務長(1929), 山東鄉村 建設研究院(1931, 鄒平)(陳)	同盟會(1911), 鄉村(陳), 民盟 (47.10 離脫)(案)	1938 年訪問延安	壽民, 壽銘 (陳)
林可璣	1900		-	福建林森人 (徐 463p.)	海軍製造學校(1912 入學), 「南錫大學」(1919 仏, 理學修 士), パリ 高等電機學校(電機 工程師)(徐)	歐美同學會, 『社會評論週刊』創 設(在福州)(徐)	青年黨(1924 入黨, 中央常務委 員, 組織部長(徐)	制憲國民大會代表 (1946. 11), 台灣へ(徐)	
林漢達	1900	1972	1972	浙江鎮海人 (案 544p., 陳 555p.)	杭州之江大學卒(1924), コロ ラド州立大學研究院民衆教 育系(1937-39)(陳), 獲得博 士學位(案)	上海世界書局出版部長, 上海之 江大學教授, 華東大學教育學院 院長(案)	民進(中央理事)・民建(中央理 事)(邱)	1946 秋大連解放区へ, 1949 年以後, 燕京大學教授, 教 育部副部長, 新政協(1), 全 人大(1-3)(案)	林迭肯, 林 濤, 林奮, 李 東(陳)
林滌非	1909		-	江西浮梁人 (蔣 179p.)	武漢中央軍事政治學校 (1926), 日本大學社會學系 (1928-1930)(蔣)	和豐銀行協理・秘書長, 安康銀行 總經理, 四川省農村合作委員會 派駐內江區の視察員(蔣)	民建(中央理事)(邱)	1949 年以後, 中華職業學校 教授, 右派分子(1980 名譽 回復), 『草乃器伝』の著者 (蔣)	林夢幻(筆 名), 林兆奎 (原名)(蔣)
冷通	1882	1959	1959	江蘇丹徒人 (陳 398p.)	安徽武備學堂(1905 卒)(陳)	広東護法軍政府總參議・代理内 政部長, 江北塩壘公司, 鎮江商會 主席(陳)	同盟會(1906), 職教, 民建(陳)	全人代表	遇秋, 雨秋 (陳)